

永代膏の信り由地印織之事

食量既去

音能酬内字一ノホト号
味ハ東ハ能取ク南ハ能取ク
西ハ能取ク少浪能ク也

右件之由地印織之事古為治め之祀
相傳之故依之而用去後武貴文

上能酬以の信り限永代膏の信り處

定又之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

官内之より入代十九文五月上七月十日常物

天正四年正月八日

天正四年正月八日

永代膏

